



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校 第3回文化祭開催

6月22日(土)、第3回文化祭が盛大に行われました。今年のテーマは「新時代〜令和に僕らの彩りを〜」でした。多くの保護者の方々にご覧いただき、大盛り上がりでした。約2週間の準備期間を経て、各クラスが団結し、アイデアを出し合った結果、素敵な発表・作品に仕上がっていました。中学1年生のステージ発表は「ありがとう平成」と題し、初めての文化祭で緊張しながらも平成の名曲でダンスを披露してくれました。最後は全員で息の合った合唱で締めくくりました。中学3年生ははじめをテーマにいちから自分たちで考えながら作ったという劇。練習の努力が垣間見える素敵な作品ができました。高校2年生・高校3年生は複合作品として、ヒーローショーありラブストーリーありと盛り上げてくれました。他の学年も工夫を凝らした映像作品をつくっており、歓声が上がっていました。また、部活動による音楽発表や有志による幕間発表の数々も花を添えてくれました。一方、展示発表では、中学1年生によるステンドグラス、中学3年生による「令和」をかたどった折り鶴アート、中学2年生や高校1年生による巨大作品など、短い準備期間のなかでつくりあげたとは思えない素敵な作品の数々が観覧者の目を楽ませていました。ステージ発表、展示発表とも、生徒一人一人のオリジナルな色が文化祭に彩りを与え、楠隼が一つにまとまった素敵な文化祭となりました。



高校 2名が海外派遣事業参加へ

1年3組の大矢颯樹君が、平成31年度の薩摩ステューデント派遣事業に参加することとなり、7月18日(木)〜31日(水)の期間で、イギリスに派遣されます。本事業は、鹿児島県が主催し、薩摩藩英国留学生ゆかりのロンドン・カムデン区にあるユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)で毎夏に行われる英国教育体験プログラムに参加し、将来グローバルに活躍する人材を育てること、また、英国との交流促進及び国際的な視野と先見性、コミュニケーション能力や豊かな感性を持った人材を育成することを目的としています。作文と面接による選考を経て、鹿児島県全体で3名という狭き門を突破し、参加することとなりました。



また、2年2組の上村豪君が、平成31年度鹿児島県青少年海外ふれ合い事業に参加することとなり、8月28日(水)〜9月4日(水)の期間で、シンガポールへ派遣されます。本事業は、本県の「郷土に学び・育む青少年運動」の実践事業として、本県との関わりの深いシンガポールに鹿児島県の青少年を派遣し、交流活動を通じて国際感覚や故郷を愛する心の醸成を図り、次代を担う青少年リーダーを育成し、併せて、シンガポールとの友好親善に寄与することを目的としています。鹿児島県全体で10名程度の参加で、政府機関の表敬訪問やホームビジットなどの研修が予定されています。

事業に参加する大矢君は「現地のティーンエイジと世界の重要な課題に対する意見をぶつけ、様々な考え方を身につけたい」と抱負を語ってくれました。

異文化に触れ、コミュニケーション能力を高めるとともに、国際感覚を養い、令和という新しい時代において、国際社会に貢献できる人材となるよう、この事業をとおして大きく成長して欲しいと思います。